



平成27年3月15日
内閣府（防災担当）

山谷内閣府特命担当大臣（防災）と
ウラジミール・アンドレーエヴィッチ・プチコフ・ロシア連邦非常事態大臣との会談



本日15日、午後4時20分から約15分間、山谷内閣府特命担当大臣（防災）（第3回国連防災世界会議議長）は、ウラジミール・アンドレーエヴィッチ・プチコフ・ロシア連邦非常事態大臣と会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

1. 冒頭

山谷大臣から、東日本大震災に際し、ロシアから150名以上の救援隊の派遣をいただいたことに改めて謝意を表す発言があった。

プチコフ大臣からは、東日本大震災における悲劇は、日本の人々だけでなく、ロシアの人々にとっても深い悲しみであり、可能な限りの支援を行いたかったため派遣した旨の発言があった。

2. 防災関係

山谷大臣から、今回の世界会議の成功に協力をしていただきたいこと、日本とロシアの協力関係をさらに緊密化させ、様々な知恵を共有化し、専門家同士の協力もさらに進めて参りたい旨の発言があった。

プチコフ非常事態大臣からは、防災の分野においては、近年、世界中で新たな脅威が生じてきており、これらの脅威に対し密接に情報交換し対応することができれば有

意義であると考えていること、今回の会議に際しては日本のイニシアチブをサポートし、採択される合意文書に基づき、防災分野に関わるあらゆる局面で協力ができると思う旨の発言があった。